



おーい！くじらぐも

Vol.35 2024年（令和6年）5月号

発行人：(福)健翔会 相談支援センターくじらぐも

所在地：埼玉県行田市小見1141番地1

TEL:048-580-3634 FAX:048-554-8814

MAIL:kujiragumo@kenshokai.net

発行責任者：くじらぐも センター長 細川竜太

福祉サービスを利用するためには「くじらぐも」が作る『サービス等利用計画』が必要です。

「くじらぐも」は障害者総合支援法により、障害者・障害児に対し相談支援事業を提供する健翔会の第4号事業所です。

計画相談支援に限らず、一般相談支援も承っております。お気軽にご相談ください。



行田市の花手水 week をご紹介します。毎月1～14日の期間に行田八幡神社、前玉神社、忍城址などその周辺の協力店舗が軒先に花手水を飾る取り組みです。



こちらは、最近の行田八幡神社の花手水です。毎回カラフルな色使いで素敵ですね。担当している花屋さん、朝早くから準備しています。



商工センター近くのチャレンジショップの花手水です。趣のある建物の中では、トルコランプを販売しています。

『本人の強いこだわりを聞いて ～支援に当てはまるヒントになれば～』

くじらぐもご利用者の方と、自分の強いこだわりについてお話を聞く機会がありました。その方は、障害者手帳をお持ちで、現在は就労移行支援事業所に通われています。4歳の時に自閉症スペクトラム障害と診断されました。病院に行くきっかけとなったのは、自分の関心のないことには一切手を出さず、関心のあるもの(この方の場合には全国各地にあるお城の名前と所在地を覚えたそうです)には、強いこだわりを持つ両極端なことを、家族が心配して病院に行くことになりました。

この方からは、当時は大きく分けて3つの強いこだわりがあって、トラブルになることも多く、今となっては心配をかけてしまったと話してくれました。

1つ目は「学習面のこだわり」です。小学校の頃から放課後等デイサービスという福祉サービスを利用していましたが、「勉強は学校でするもの」というこだわりを持つようになり、その事業所でも自宅でも、宿題や自宅学習と言う習慣が身につかず、また、関心のある教科、ない教科が両極端のため、成績に大きくバラつきが出る結果になったそうです。

2つ目は「趣味に関するこだわり」です。好きなアニメやゲームに、とことん没頭してしまうあまり、まわりの友達が話す内容が違っていたり、「にわかファン」ということがわかると激怒してしまったそうです。今思うと、とても反省していると話してくれました。

3つ目は「時間に関するこだわり」です。自分は「予定は入れた時点で確定事項」というこだわりがあり、急な予定変更は納得できず、長期間不機嫌になることもあったそうです。

最後にこの方からは、「様々なこだわりと付き合ってきて、学習面でも友人関係でも大きな失敗をした。今は、ある特定の人としか付き合わなくなった。ただ、社会に出て多くの人と関わりを持ち、自分が持っているこだわりを妥協しなければいけないと考えるようになった。そんな簡単なことではないけれど、今は少しずつ妥協できるようになり、気持ちが楽になっている。」と話がありました。障害特性とこだわりの関係性、妥協できるこだわりとできないこだわり、障害のない人でもこだわりはある、そんなことを考えると、一筋縄ではいかないですが、何かの参考になればと思います。

<5月のトピックス>

先日、面談中(モニタリング)のご利用者から、急に「これからやってみようか何かですか?」と逆質問されました。いつもは私たちに聞く立場だと思っているので、今日は逆に聞いてみましたとのこと。質問されて思ったことは、「急に聞かれても…」です。質問や話を聞くということは、ゆったりとした雰囲気作りや環境が改めて大切なんだなと感じた瞬間でした。